

# 平成28年度 保健福祉部長の目標宣言

保健福祉部長 小林 幹夫

## 1 部長メッセージ

少子高齢化の進行や単身世帯の増加など、社会経済環境の変化により、保健福祉分野の課題は複雑・多様化しています。障害がある方も、高齢の方もすべての市民の皆さんが、住み慣れた地域で安心して、健康で生き生きと生活できるように「しあわせ創造都市 いせはら」の実現に向け、保健福祉面での各施策を展開します。

特に、健康分野では、中期戦略プラン「運動・連携チーム」により、スポーツや生涯学習、観光、市民協働などと幅広く連携し市民の健康づくりに努めます。また、地域の支え合いや障害者福祉施策、生活困窮者支援、介護予防の推進などに取り組みます。

職員一人ひとりが、課題意識を持ち、自分の役割を理解し明確な目標を持ち、主体的に取り組むとともに組織目標の実現に向け職務を遂行していくよう、意識の醸成を図り、適切な進行管理のもと保健福祉部職員が一丸となって福祉課題の解決とサービスの充実に努めます。

## 2 部の主な役割と運営資源

### (1) 主な役割

保健福祉部は、地域福祉、障害者の福祉、介護・高齢者の福祉、生活困窮者への支援、保健・医療に関する分野の役割を担っており、誰もが安心して生き生きと暮らしていただけるよう、伊勢原市第5次総合計画に基づき、各施策を着実に推進します。

また、限られた財源を有効に活用し、各分野の個別計画に沿い、市民、事業所、関係機関等と十分連携・協力しながら、保健・福祉施策を実施します。

### (2) 職員数

正職員 58人、臨時職員等 37人

※ 医療制度改革担当部長の運営資源として、別途正職員16人、臨時職員等8人があります。

### (3) 構成する課等

福祉総務課、障害福祉課、介護高齢福祉課、生活福祉課、健康管理課

※ 医療制度改革担当部長の運営資源として、別途保険年金課があります。

### (4) 予算額（平成28年度歳出、一般会計・特別会計）※職員給与費を除く

・一般会計 6,566,137 千円(うち、一般財源 3,385,161 千円)

・介護保険事業特別会計 6,380,246 千円(うち、一般財源 110,063 千円)

※ 医療制度改革担当部長の運営資源として、別途国民健康保険事業特別会計と後期高齢者医療事業特別会計があります。

### 3 平成28年度の取組方針

(1) 市民の健康づくりを推進します。

第5次総合計画中期戦略事業プラン「連携・連動推進チーム」により、組織間の横断的な連携を図り、健診・検診、運動、食育、生きがいつくりを4本柱として、医療機関や大学をはじめとする幅広い分野と連携した市民の健康づくりを推進します。

また、健康相談事業等を通じ、疾病予防や病気の早期発見・早期治療につなげるとともに、健康いせはら21計画、食育推進計画等に基づく食に対する意識啓発など、健康的な生活習慣の定着を図ります。

(2) 地域福祉を推進します。

第3期地域福祉計画に基づき、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域の支え合い活動を推進するとともに、判断能力が十分とはいえない高齢者や障害者の方々の権利擁護を推進するため、(仮称)成年後見・権利擁護推進センターを設置するなど、地域福祉を推進します。

(3) 障害者計画・障害福祉計画を推進します。

第4期障害者計画・障害福祉計画に基づき、施策を着実に推進するとともに、相談支援事業や就労支援事業など、市内の各事業所等と連携した中で、障害者の日常生活の支援等を推進します。

(4) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を推進します。

介護保険制度の適正な運用を図るとともに、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域包括ケアシステムの構築に向け、第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を着実に推進します。

(5) 生活困窮者への生活の保障及び自立を支援します。

生活保護法に基づき、生活に困窮する方々に対して、セーフティネットとして困窮の程度に応じて必要な支援を行います。

また、生活保護制度の適正な運用等を図るとともに、被保護者の自立に向け、就労支援員による助言や指導、相談を行うとともに、関係機関と連携し被保護者の就労を支援します。

(6) 財政健全化計画、第4次行財政改革推進計画を推進します。

財政健全化計画を推進するとともに、事務事業の見直しをはじめとして、第4次行財政改革推進計画の基本方針に基づいた取組を推進します。

#### 4 平成28年度の具体的な取組と達成目標

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	各種計画との関連
1	市民健康増進事業の推進 (健康管理課)	・市民の健康の維持、増進を図るため、スポーツをはじめとする各分野との連携、また大学や医療機関等と連携し、健康測定や健康診断等の各事業を通じて、市民の健康づくりを推進します。	[目標値] ・健康相談参加者数 5,800人 ・健康バス測定会参加者数 245人 ・39歳以下健康診査受診者数 240人	第5次総合計画(恵まれた医療を活用した健康づくり推進事業)
2	食を通じた健康づくり推進事業の推進 (健康管理課)	・市民の健康の維持、増進を図るため、本市の食育に関わる様々な主体と連携し、講座や調理実習等を開催するなど、ライフステージに応じたより良い食習慣づくりを推進します。	[目標値] ・栄養教室・栄養相談参加者数 3,150人	第5次総合計画(食を通じた健康づくり推進事業)
3	権利擁護の推進 (福祉総務課)	・判断能力が十分とはいえない高齢者や障害者の方が、住み慣れた地域で安心して生活ができるように、(仮称)成年後見・権利擁護推進センターを設置し、権利擁護を推進します。	[目標値] ・(仮称)成年後見権利擁護推進センターの設置	第5次総合計画(成年後見制度利用促進事業)
4	障害者相談支援事業 (障害福祉課)	・障害者が、住み慣れた地域で生活を送ることができるよう、また、ライフステージに応じた切れ目の無い支援をめざし、相談員の資質向上、ケアマネジメントの充実を図ります。	[目標値] ・障がい者とくらしを考える協議会相談支援部会の開催 年10回 ・相談支援事業所数 10事業所	第5次総合計画(障害者相談支援事業)
5	障害者の就労支援事業 (障害福祉課)	・障害者が、仕事を通じて自立した生活を送ることができるよう、職場定着支援や生活支援等も含めた雇用対策を推進します。	[目標値] ・就労継続等支援サービス利用者 273人 ・障がい者とくらしを考える協議会就労支援部会の開催 年4回	第5次総合計画(障害者就労支援事業)

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	各種計画との関連
6	在宅医療と介護連携の推進 (介護高齢福祉課)	・高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活ができるように、医療と介護に携わる関係機関が連携し、多職種協働による医療と介護を一体的に提供できる体制の構築を推進します。	[目標値] ・連携に向けた検討会の開催 6回 ・協働する職種数 6職種	第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(地域包括ケア体制の充実)
7	認知症施策の推進 (介護高齢福祉課)	・認知症高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して生活ができるように、地域や関係機関と連携し、認知症ケアパスの作成など、認知症施策を推進します。	[目標値] ・認知症ケアパスの作成	第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(認知症高齢者への支援の強化)
8	介護保険料の適正化 (介護高齢福祉課)	・第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、介護保険制度を適正に運営するとともに、介護サービスに対する需要の把握とサービス量の確保に努めます。	[目標値] ・介護保険制度の適正な運営と、介護サービスに対する需要と供給量の正確な把握	第四次行財政改革推進計画(介護保険料の適正化)
9	生活保護制度の適正化の推進 (生活福祉課)	・生活保護制度の適正な運営を図るため、自立給付金を活用して被保護者の就労による自立の支援と医療扶助費の適正化を推進します。	[目標値] ・自立給付金による自立世帯 20世帯 ・ジェネリック医薬品の利用率 70%	—